

特定非営利活動法人 みなぱ フードバンクもいわ(札幌市)



倉庫及び食品の陳列状況



スタッフの皆さん

◆【フードバンク活動開始の経緯】

◆子どもの居場所づくりの一環として「地域こども食堂」の活動を行う中で、大きな社会課題となっている「食品ロス」の削減や、資源を活用したい人、団体との橋渡しを担えるのではないかという想いから、フードバンク事業を開始した。

◆【活動の概要】

◆企業、農家、個人などから食品の寄贈を受け入れている。また、フードドライブを実施するスーパーと連携し、集まった食品の寄贈を受けている。
◆生活に困窮している世帯(一人親家庭など)に寄贈食品を無償で提供している。
◆札幌市内2箇所、江別市内1箇所で、「地域こども食堂」を定期的に開催している。

【組織の概要】

- 団体名: NPO法人みなぱ フードバンクもいわ
- 所在地: 札幌市南区
- 代表者: 理事長 中村 絵梨子
- 活動人数: 4名(他、ボランティア数十名)
- 活動開始時期: 2025年
- HP: <https://minapa.or.jp/>
- 北海道フードバンクネットワーク加盟
- 取扱品: 加工食品(常温)、米、野菜など
- 提供の条件: 賞味期限が1ヶ月以上あるもの

【取組む際に生じた課題】

- ◆冷凍・冷蔵食品の寄贈の申出がある場合、家庭用の冷凍冷蔵庫で保存することになるため、受け入れ可能な量は限られてしまう。
- ◆スーパーなど、企業のフードロス削減の取り組みが、寄贈される食品の量に影響を与えることが想定されるため、イベント開催時にフードドライブを設置して未利用食品を集めるとともに、来場者に取組を周知することも検討している。

フードバンクもいわの食品取扱いのフロー図



【今後の展望】

- ◆寄贈を受ける食品の量が増加した場合、倉庫など保管場所を確保する必要がある。
◆現在、寄贈食品を受け取る方に配達、または取りに来ていただいているが、将来的に利用者が増加した場合は、配送することも検討している。